

みなさまへ

三陸の海を放射能から守る岩手の会

「海に、空に放射能を流さないことも求める全国署名」への協力依頼

私たちの会は2005年2月発足以来下北や三陸の海を放射能汚染から守るため六ヶ所村再処理工場を止めることを目標にして活動してきました。しかし、2006年3月31日から使用済み核燃料を使用するアクティブ試験が強行されてしまいました。現在今年11月の本格操業を目指して第三ステップが開始されております。

昨年11月18日には原子力施設の濃度規制値の1400倍ものトリチウムが下北沖に流されています。また、空にはクリプトン85が全量放出されています。このような非道な行為がなされていることから、わたしたちは再処理工場の中止を求めつつも、さしあたって放射能の環境放出を低減させることを運動目標にしました。

この根拠は1988年12月の青森県議会では除去装置を設置する予定図がありましたが、3ヶ月後国への申請書からは抹消されていた事実があります。また関係者の発言や関連文献を調べますと、再処理工場からのクリプトンやトリチウムなどの除去技術が開発されていることがわかりました。青森県の人々そして岩手県、宮城県の沿岸の人々にとり放射能の除去は切実な願いです。このようなことから放射能を流さないこと（除去装置の設置）を関係機関に求めることにしました。人々の生活や健康を尊重するならば、このような装置の設置はいくら予算がかかろうが最優先するべきことではないでしょうか。

なお、6月末集約後は署名提出とともに同趣旨の国会請願を行う予定でおります。取り扱い団体名は署名提出時に連名させていただきます。

署名用紙はメール添付をいたしますので、ご連絡をお願いします。なお、用紙そのものが必要な場合はお知らせ下さい。ホームページ <http://homepage3.nifty.com/gatayann/env.htm> や「まった再処理文庫」[http://briefcase.yahoo.co.jp/bc/k\\_imag/lst?.dir=/d8f0&.src=bc&.view=](http://briefcase.yahoo.co.jp/bc/k_imag/lst?.dir=/d8f0&.src=bc&.view=)からもプリントできます。

(参考資料)

原子力百科事典 ATOMICA 再処理工場からのトリチウムヨウ素の除去

[http://mext-atm.jst.go.jp/atomica/06030504\\_1.html](http://mext-atm.jst.go.jp/atomica/06030504_1.html)

再処理工場からのクリプトン85の除去については

2003.3 核燃サイクル開発機構「再処理施設におけるクリプトン回収・固定化技術開発」中間評価 によると「回収技術はプラント規模で技術に目処をつけた」と明記されております。「固定化技術が残された課題としたい」と並記されております。このことから、まずはポンベなどに回収しておき、固定化技術の開発をまち固定すべきです。

(事務局 020-0004 岩手県盛岡市山岸6-36-8 永田方 電話・fax 019-661-1002)